

TAP（徳地アドベンチャー教育プログラム）指導者養成講習会

令和3年1月9日（土）～11日（月）

【目的】

「徳地アドベンチャー教育プログラム」（以下、TAP）の実習や講義を通して、チームビルド等の人間関係の構築や自己肯定感の向上を目的としたグループワークの指導者に求められる知識・技能を習得する。

また、本指導者養成事業は弊所の研修支援団体へのTAPの外部指導員の育成のカリキュラムの1つとし、外部指導員確保も同時に目的としている。

【参加者】 14名

【プログラムの内容】

1日目

13:00 開講式、オリエンテーション
セッション①
「アイスブレイク」
15:00 セッション②
「アイスブレイク」
19:00 セッション③
「ローエレメント」

2日目

9:00 セッション④
「基本的な理論の学習」
13:00 セッション⑤
「ローエレメント等の特性」
19:00 セッション⑥
「理論、ルーブリック」

3日目

9:00 セッション⑦
「シーケンスについて」
13:00 セッション⑧
「シーケンスについて」
16:00 閉講式

セッション①②



3日間の学習をより良いものにするために、心と体をほぐすためにアイスブレイクをした。

この日は気温が低かったことから体を動かすアクティビティを中心に行った。



セッション③



夜の時間は、ローエレメントを使って学習の環境をさらに整えた。

また、様々な展開のパターンがあることを体験的に学んだ。



セッション④



2日目の午前中は、ウォームアップを行った後、基本的な理論の復習を参加者同士の知識を集めて行った。

また、その理論をもとに深めていくための準備を行った。



セッション⑤



午後は、参加者がファシリテーターとしてウォームアップを行い、その後、アクティビティひとつひとつにどんな効果があるのかを個人でまとめ、グループで共有した。



セッション⑥



2日目の夜はグループを見る視点を学習し、それをもとに、グループの評価指標を作成した。



セッション⑦



最終日は、実際に団体を想定してアクティビティを組んだ。参加者それぞれがここまで学んだ事を使って独自のデザインをくみ上げ、発表した。



【参加者の声】

「2泊3日をあっという間に感じるほど充実した時間を過ごすことができました」「本当に悶々としたがこれから学び続けていければ良いと思いました。これから煮詰めていきたい」「自分自身の学びだけでなく職場に持ち帰って協議したいことが多々ありました。TAPを見に行きたい」「限られた時間とはいえ、これだけじっくり考えて話し合ったり、フィードバックをもらったりできる時間がなかなかとれないので参加してよかったですと思います」

【成果と課題】

参加者のニーズと徳地として提供したいものの差異が生まれてしまうので、そこを埋めていく必要がある。また、講習会のレベルを維持するための職員スキルの向上が必要である。